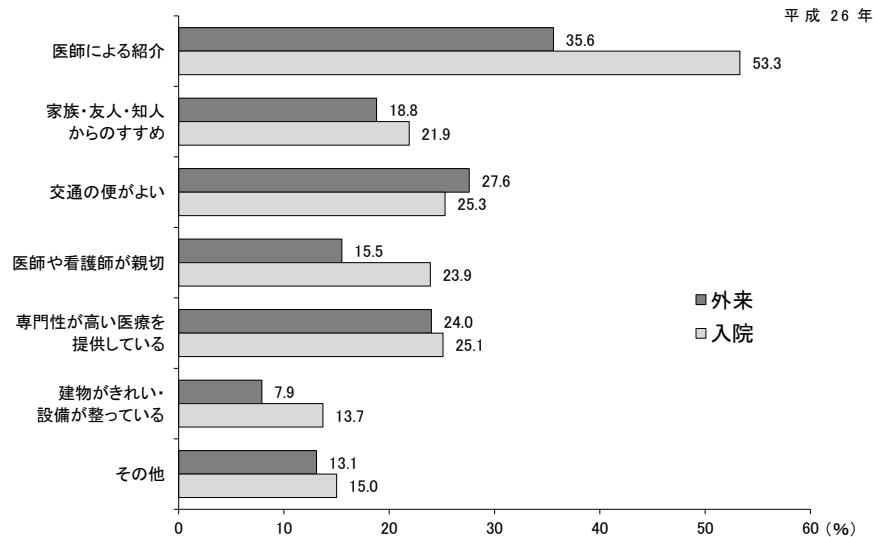


結果の概要

1 病院を選んだ理由

「病院を選んだ理由がある」者について、選んだ理由をみると、外来、入院ともに「医師による紹介」が最も高く、外来で 35.6%、入院で 53.3%、次いで、「交通の便がよい」が外来で 27.6%、入院で 25.3%、「専門性が高い医療を提供している」が外来で 24.0%、入院で 25.1%となっている（図1、統計表1、2）。

図1 外来－入院別にみた病院を選んだ理由（複数回答）



注：「病院を選んだ理由がある」者を 100 とした割合である。

2 予約の状況、診察等までの待ち時間、診察時間（外来患者のみ）

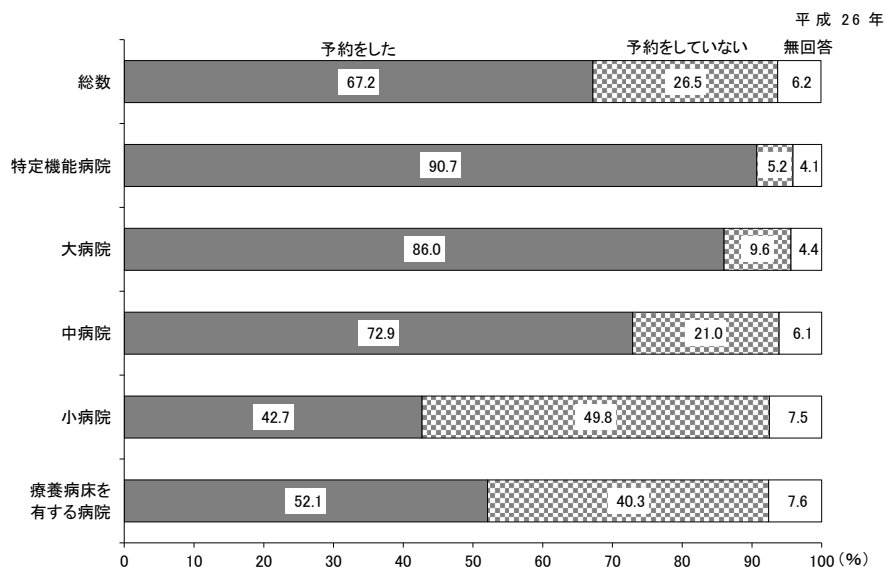
（1）予約の状況

外来患者の予約の状況をみると、「予約をした」は 67.2%、「予約をしていない」は 26.5%となっている。

病院の種類別にみると、「予約をした」が最も高いのは特定機能病院で、90.7%となっている。

（図2）

図2 病院の種類別にみた外来患者の予約の状況



(2) 診察等までの待ち時間、診察時間

外来患者の診察等までの待ち時間及び診察時間をみると、待ち時間は「15分未満」が25.0%と最も多く、次いで、「15分～30分未満」が24.0%、「30分～1時間未満」が20.2%となっており、1時間未満の待ち時間の割合が多くなっている。

診察時間は「3分～10分未満」が51.2%と最も多く、次いで、「3分未満」が16.5%、「10分～20分未満」が13.8%となっている。(表1、統計表3)

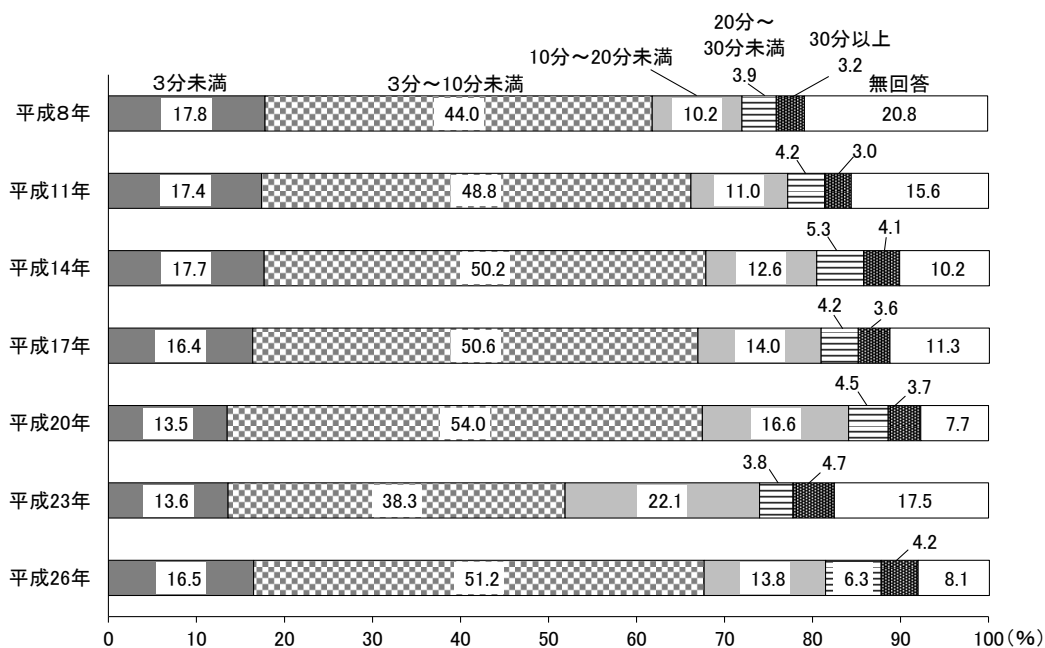
表1 外来患者の診察等までの待ち時間、診察時間

(単位:%)		平成26年						
		総数	診 察 時 間					
診 察 等 ま だ の 待 ち 時 間	総 数	3分未満	3分～10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分以上	無 回 答	
	診 総 数	100.0	16.5	51.2	13.8	6.3	4.2	8.1
	15分未満	25.0	5.2	12.2	3.0	1.8	1.7	1.1
	15分～30分未満	24.0	3.7	13.6	3.3	1.6	0.8	0.8
	30分～1時間未満	20.2	3.1	11.3	3.2	1.2	0.7	0.7
	1時間～1時間30分未満	10.7	1.7	6.0	1.8	0.5	0.3	0.3
	1時間30分～2時間未満	7.4	1.3	4.0	1.1	0.5	0.3	0.2
	2時間～3時間未満	4.4	0.8	2.3	0.7	0.3	0.1	0.2
	3時間以上	1.9	0.3	0.8	0.3	0.2	0.2	0.1
	無回答	6.5	0.4	0.9	0.3	0.2	0.1	4.7

注:「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

外来患者の診察時間の年次推移をみると、「3分未満」及び「3分～10分未満」の合計がおおむね6～7割程度で推移している(図3)。

図3 外来患者の診察時間の年次推移



注:1)平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

3 来院の目的、診察・治療・検査などの内容（外来患者のみ）

外来患者の来院の目的をみると、「診察・治療・検査などを受ける」は 92.4%、「健康診断（人間ドックを含む）・予防接種」は 4.8%となっている。

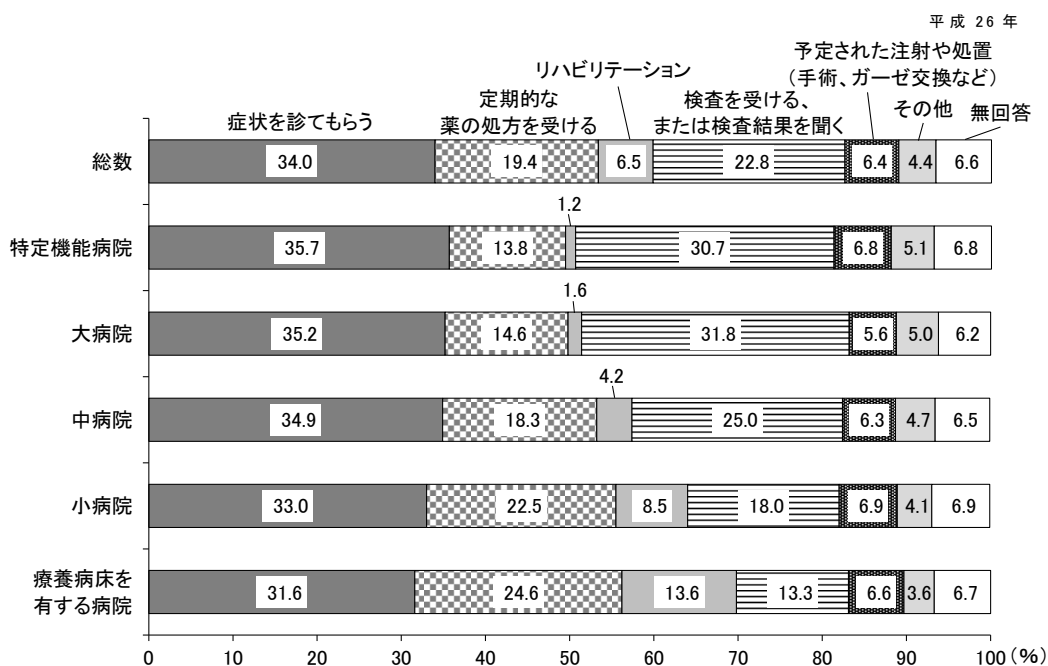
来院の目的を「診察・治療・検査などを受ける」と回答した者について、診察・治療・検査などの内容をみると、「症状を診てもらう」が 34.0%と最も多く、次いで、「検査を受ける、または検査結果を聞く」が 22.8%となっている。

病院の種類別にみると、すべての病院で「症状を診てもらう」が最も多く、次いで、特定機能病院、大病院及び中病院では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が、小病院及び療養病床を有する病院では「定期的な薬の処方を受ける」が多くなっている。（表2、図4）

表2 病院の種類別にみた外来患者の来院の目的、診察・治療・検査などの内容

	総数	診察・治療・検査などを受ける	診察・治療・検査などの内容							健康診断（人間ドックを含む）・予防接種	無回答
			症状を診てもらう	定期的な薬の処方を受ける	リハビリテーション	検査を受ける、または検査結果を聞く	予定された注射や処置（手術、ガーゼ交換など）	その他	無回答		
総数	100.0	92.4 (100.0)	34.0	19.4	6.5	22.8	6.4	4.4	6.6	4.8	2.8
特定機能病院	100.0	98.0 (100.0)	35.7	13.8	1.2	30.7	6.8	5.1	6.8	0.5	1.6
大病院	100.0	96.1 (100.0)	35.2	14.6	1.6	31.8	5.6	5.0	6.2	2.1	1.8
中病院	100.0	92.4 (100.0)	34.9	18.3	4.2	25.0	6.3	4.7	6.5	4.8	2.8
小病院	100.0	91.1 (100.0)	33.0	22.5	8.5	18.0	6.9	4.1	6.9	5.9	3.1
療養病床を有する病院	100.0	89.1 (100.0)	31.6	24.6	13.6	13.3	6.6	3.6	6.7	7.4	3.6

図4 病院の種類別にみた外来患者の診察・治療・検査などの内容



注：「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を100とした割合である。

4 緊急入院・予定入院、入院までの期間、入院までに時間がかかった理由 (入院患者のみ)

入院患者の入院時の状況を見ると、「緊急入院(外来を受診してすぐ)または救急搬送」は40.7%、「予定入院(予約をしてからの入院)」は57.1%となっている。

「予定入院(予約をしてからの入院)」と回答した者について、入院までの期間(入院が必要と診断されてから実際に入院するまでの期間)を見ると、「1週間未満」が38.6%と最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が34.6%、「1か月～6か月未満」が16.1%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「1週間～1か月未満」が最も多く、次いで、「1週間未満」が多くなっている。また、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「1週間未満」が最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が多くなっている。(表3)

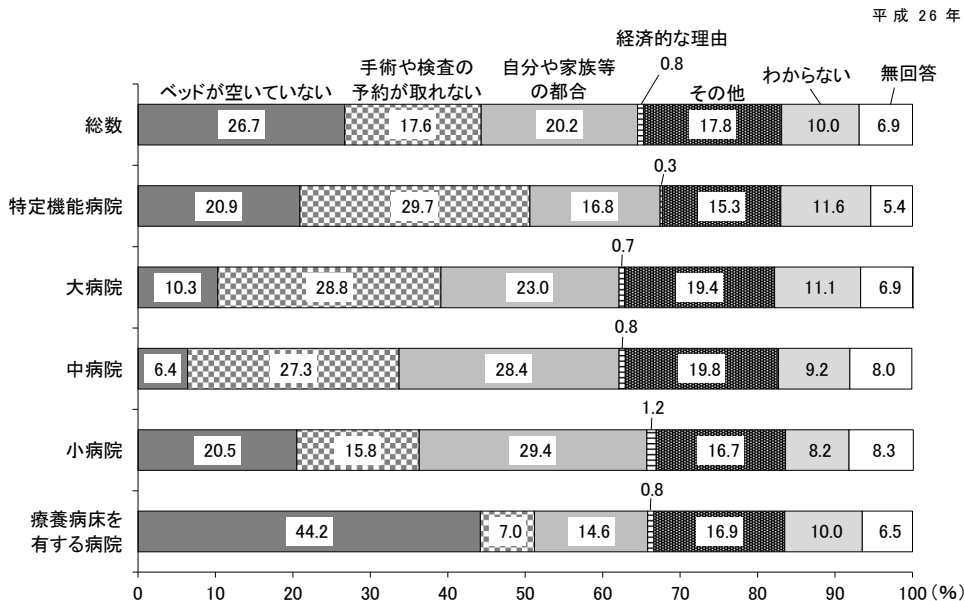
表3 病院の種類別にみた入院患者の緊急入院・予定入院、入院までの期間

	総数	緊急入院(外来を受診してすぐ)または救急搬送	予定入院(予約をしてからの入院)	入院までの期間							無回答
				1週間未満	1週間～1か月未満	1か月～6か月未満	6か月以上	覚えていない	無回答		
				(38.6)	(34.6)	(16.1)	(2.7)	(4.7)	(3.2)		
総数	100.0	40.7	57.1 (100.0)	(38.6)	(34.6)	(16.1)	(2.7)	(4.7)	(3.2)	2.2	
特定機能病院	100.0	29.9	69.2 (100.0)	(26.7)	(40.3)	(26.2)	(3.8)	(0.8)	(2.1)	0.9	
大病院	100.0	45.7	52.8 (100.0)	(34.9)	(37.4)	(20.4)	(3.5)	(1.6)	(2.3)	1.5	
中病院	100.0	48.9	49.2 (100.0)	(39.4)	(36.3)	(17.4)	(2.8)	(1.4)	(2.7)	1.9	
小病院	100.0	44.2	53.2 (100.0)	(45.0)	(29.3)	(17.1)	(3.2)	(2.0)	(3.5)	2.6	
療養病床を有する病院	100.0	35.4	61.9 (100.0)	(40.0)	(32.8)	(13.2)	(2.4)	(7.8)	(3.8)	2.7	

「予定入院(予約をしてからの入院)」と回答した者のうち、入院までの期間が「1週間以上」の者について入院までに時間がかかった理由をみると、「ベッドが空いていない」が26.7%と最も多く、次いで「自分や家族等の都合」が20.2%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「手術や検査の予約が取れない」が、中病院及び小病院では「自分や家族等の都合」、療養病床を有する病院では「ベッドが空いていない」が最も多くなっている。(図5)

図5 病院の種類別にみた入院患者の入院までに時間がかかった理由



注:「予定入院(予約をしてからの入院)」で入院した者で、入院までの期間が「1週間以上」の者を100とした割合である。

5 自覚症状（外来患者のみ）

（1）自覚症状の有無、自覚症状はなかったが受診した理由（複数回答）

外来患者が受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時、「自覚症状があった」は69.0%、「自覚症状がなかった」は25.3%となっている（図6、統計表4）。

「自覚症状がなかった」と回答した者の受診した理由をみると、「健康診断（人間ドック含む）で指摘された」が40.8%と最も高く、次いで、「他の医療機関等で受診を勧められた」が23.0%となっている（図7、統計表4）。

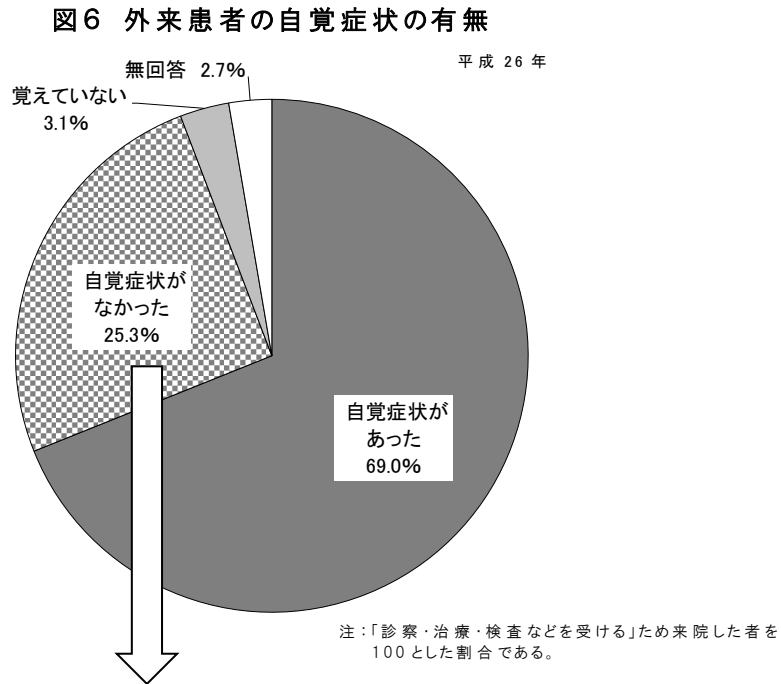
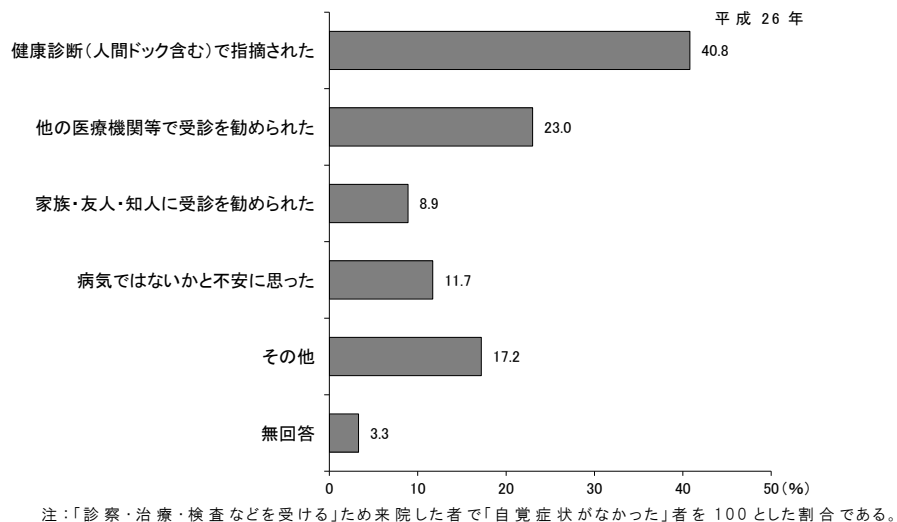


図7 外来患者の自覚症状はなかったが受診した理由（複数回答）



（2）受診までの期間、受診までに時間がかかった理由（複数回答）

「自覚症状があった」「自覚症状がなかった」と回答した者について、受診までの期間（症状を自覚した時から、又は自覚症状がなかったが受診した理由が生じた時から最初の受診までの期間）をみると、「1週間～1か月未満」が17.6%と最も多く、次いで、「1～3日」が15.8%となっている。

受診までの期間を自覚症状の有無別にみると、「自覚症状があった」では「1～3日」が最も多く18.1%、「自覚症状がなかった」では「1週間～1か月未満」が最も多く20.5%となっている。（表4、統計表5）

表4 自覚症状の有無別にみた外来患者の受診までの期間

(単位:%)

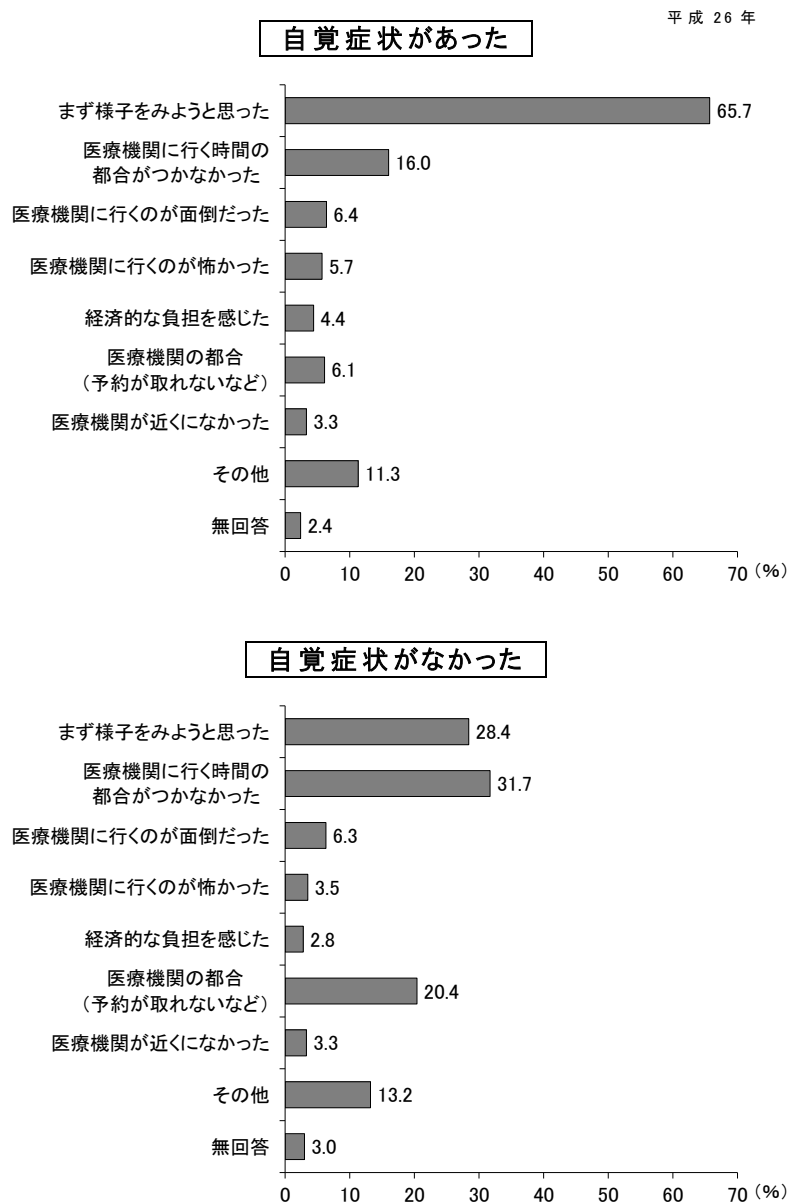
平成26年

	総数	24時間未満	1～3日	4～6日	1週間～1か月未満	1か月～3か月未満	3か月以上	覚えていない	無回答
総数	100.0	13.6	15.8	7.5	17.6	9.9	11.4	13.5	10.8
自覚症状があった	100.0	16.3	18.1	7.8	16.5	9.7	12.7	11.8	7.1
自覚症状がなかった	100.0	6.1	9.5	6.6	20.5	10.4	7.9	18.1	21.0

注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

受診までの期間が「1週間以上」の者について、自覚症状の有無別に受診までに時間がかかった理由をみると、「自覚症状があった」では「まず様子をみようと思った」が最も高く65.7%、「自覚症状がなかった」では「医療機関に行く時間の都合がつかなかった」が最も高く31.7%となっている(図8、統計表6)。

図8 外来患者の受診までに時間がかかった理由(複数回答)



注:1)「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

2)受診までの期間が「1週間以上」の者を100とした割合である。

6 医師からの説明の有無、程度、説明に対する疑問や意見

(1) 医師からの説明の有無、説明の程度

病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から「説明を受けた」者は、外来で 95.5%、入院で 94.1%となっている。また、医師から説明を受けた者について、「説明は十分だった」は外来が 93.9%、入院が 93.3%、「説明は十分ではなかった」は外来が 6.1%、入院が 6.7%となっている。(表5)

表5 外来－入院、病院の種類別にみた医師からの説明の有無、説明の程度

	総数	説明を受けた					説明は十分ではなかった					説明を受けていない	無回答
		説明は十分だった	説明は十分だった	まあまあ十分だった	説明は十分ではなかった	あまり十分ではなかった	説明は十分ではなかった	説明は十分ではなかった	説明は十分ではなかった	説明は十分ではなかった			
外来	100.0	95.5 (100.0)	(93.9)	(58.5)	(35.4)	(6.1)	(4.4)	(1.7)	0.5	4.0			
特定機能病院	100.0	97.0 (100.0)	(93.5)	(58.9)	(34.6)	(6.5)	(4.7)	(1.8)	0.4	2.6			
大病院	100.0	96.4 (100.0)	(93.3)	(56.7)	(36.6)	(6.7)	(4.8)	(1.9)	0.4	3.1			
中病院	100.0	95.1 (100.0)	(93.8)	(58.0)	(35.8)	(6.2)	(4.6)	(1.7)	0.5	4.3			
小病院	100.0	94.9 (100.0)	(94.4)	(58.6)	(35.8)	(5.6)	(4.2)	(1.4)	0.6	4.5			
療養病床を有する病院	100.0	95.1 (100.0)	(94.4)	(60.3)	(34.1)	(5.6)	(3.8)	(1.8)	0.6	4.3			
入院	100.0	94.1 (100.0)	(93.3)	(66.5)	(26.8)	(6.7)	(4.5)	(2.2)	2.3	3.7			
特定機能病院	100.0	97.8 (100.0)	(95.8)	(70.9)	(25.0)	(4.2)	(3.1)	(1.1)	0.5	1.7			
大病院	100.0	96.5 (100.0)	(94.6)	(69.9)	(24.7)	(5.4)	(3.6)	(1.8)	1.0	2.6			
中病院	100.0	95.7 (100.0)	(94.8)	(70.5)	(24.4)	(5.2)	(3.7)	(1.5)	1.2	3.1			
小病院	100.0	95.0 (100.0)	(93.1)	(66.8)	(26.2)	(6.9)	(4.9)	(2.0)	1.8	3.2			
療養病床を有する病院	100.0	91.9 (100.0)	(91.6)	(62.5)	(29.1)	(8.4)	(5.5)	(2.9)	3.5	4.5			

注：外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を100とした割合である。

(2) 医師から受けた説明に対する疑問や意見

医師から診断や治療方針の説明を受けた者について、疑問や意見を医師に「伝えられた」は外来が 88.4%、入院が 83.7%、「伝えられなかった」は外来が 6.3%、入院が 7.2%となっている(表6)。

表6 外来－入院、病院の種類別にみた医師から受けた説明に対する疑問や意見

	総数	伝えられた			伝えられなかった			疑問や意見はなかった		無回答
		十分に伝えられた	まあまあ伝えられた	伝えられた	あまり伝えられなかった	まったく伝えられなかった	疑問や意見はなかった			
外来	100.0	88.4	44.5	43.9	6.3	5.7	0.6	4.0	1.3	
特定機能病院	100.0	89.4	43.7	45.7	7.0	6.5	0.5	2.8	0.8	
大病院	100.0	88.4	42.4	46.1	7.2	6.5	0.7	3.3	1.0	
中病院	100.0	88.6	44.1	44.4	6.2	5.6	0.6	4.0	1.3	
小病院	100.0	87.1	44.9	42.2	6.5	5.9	0.5	4.8	1.6	
療養病床を有する病院	100.0	88.5	46.7	41.9	5.5	4.8	0.7	4.5	1.4	
入院	100.0	83.7	49.5	34.2	7.2	5.9	1.3	7.1	2.1	
特定機能病院	100.0	89.3	51.5	37.8	4.8	4.3	0.5	4.6	1.3	
大病院	100.0	85.9	50.1	35.8	6.2	5.3	0.9	6.2	1.8	
中病院	100.0	86.5	52.1	34.4	5.2	4.3	0.9	6.3	2.0	
小病院	100.0	81.1	51.4	29.7	7.6	6.3	1.3	9.0	2.4	
療養病床を有する病院	100.0	81.0	47.3	33.7	8.9	7.2	1.7	7.9	2.2	

注：1)「医師から説明を受けた」者を100とした割合である。

2) 外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

7 入院の有無、外来の受診頻度（外来患者のみ）

外来患者の過去1年間の入院の有無をみると、「入院したことがあった」は 30.4%、「入院したことがなかった」は 65.0%となっている(表7)。

外来患者の過去1年間の外来の受診頻度は「2～9回」が最も多く 33.4%となっている。

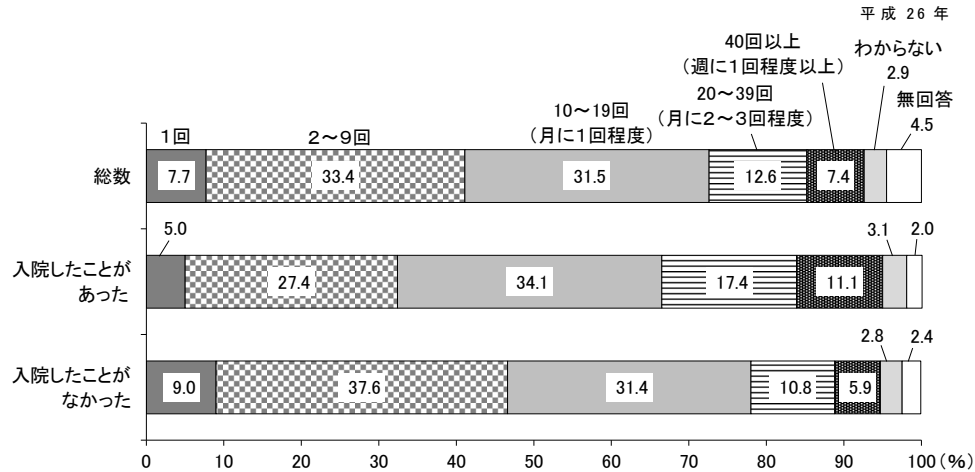
受診頻度を入院の有無別にみると、「入院したことがあった」では「10～19回(月に1回程度)」が最も多く 34.1%、「入院したことがなかった」では「2～9回」が最も多く 37.6%となっている。(図9、統計表7)

表7 病院の種類別にみた外来患者の入院の有無

(単位:%)		平成26年			
	総数	入院したことがあった	入院したことがなかった	無回答	
総数	100.0	30.4	65.0	4.6	
特定機能病院	100.0	35.6	61.7	2.7	
大病院	100.0	33.9	62.9	3.2	
中病院	100.0	31.0	64.3	4.7	
小病院	100.0	26.3	68.6	5.1	
療養病床を有する病院	100.0	27.5	66.7	5.8	

注:入院の有無は、調査日から過去1年間の入院の状況(他の病院や診療所を含む。)である。

図9 入院の有無別にみた外来患者の外来の受診頻度



注:1)入院の有無の「総数」には、無回答を含む。
2)入院の有無及び外来の受診頻度は、調査日から過去1年間の状況である。

8 退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し(入院患者のみ)

入院患者の退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しをみると、「自宅で療養できる」は55.3%、「自宅で療養できない」は24.3%となっている。

病院の種類別にみると、「自宅で療養できる」は特定機能病院が74.1%と最も高く、「自宅で療養できない」は療養病床を有する病院が36.6%と最も高くなっている。

「自宅で療養できない」と回答した者について、自宅療養を可能にする条件をみると、「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が40.6%と最も高く、次いで、「家族の協力」が35.4%、「療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)」が27.9%となっている。(表8)

表8 病院の種類別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し

(単位:%)	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)										療養の必要がない	わからない	無回答		
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	診療所への連絡体制	緊急時の連携体制	(服薬・リハビリ指導など)	療養のための指導(手すりの設置など)	療養のための改築(車いす、ベッドなど)	療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)				その他	整えられないのか
総数	100.0	55.3	24.3	(100.0)	(35.4)	(40.6)	(21.4)	(24.6)	(24.1)	(25.5)	(19.8)	(27.9)	(23.6)	(12.2)	(5.8)	3.8	14.0	2.7
特定機能病院	100.0	74.1	8.9	(100.0)	(41.0)	(34.2)	(30.6)	(20.9)	(27.9)	(30.6)	(19.4)	(26.6)	(15.2)	(6.6)	(4.1)	4.7	10.7	1.6
大病院	100.0	71.2	10.2	(100.0)	(38.4)	(36.5)	(25.7)	(20.3)	(26.2)	(28.9)	(19.0)	(24.9)	(15.0)	(7.6)	(5.1)	5.2	11.4	2.0
中病院	100.0	67.3	14.1	(100.0)	(36.7)	(39.7)	(23.2)	(20.9)	(24.0)	(27.9)	(20.1)	(26.0)	(17.8)	(8.7)	(6.1)	4.6	11.6	2.5
小病院	100.0	62.2	17.7	(100.0)	(33.1)	(39.4)	(19.1)	(19.6)	(19.4)	(22.5)	(17.3)	(26.1)	(21.6)	(12.2)	(7.0)	4.2	13.1	2.8
療養病床を有する病院	100.0	40.9	36.6	(100.0)	(34.8)	(41.4)	(20.6)	(26.2)	(24.2)	(24.7)	(20.0)	(28.7)	(25.8)	(13.6)	(5.8)	2.8	16.5	3.2

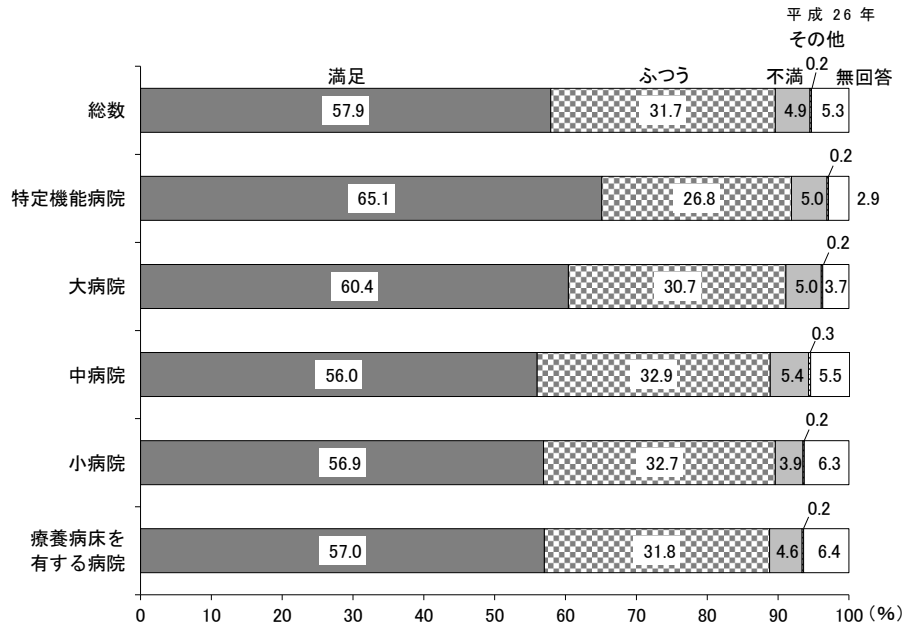
9 満足度

(1) 外来患者の病院に対する全体的な満足度

調査日に受診した病院を全体として「満足」していると回答した外来患者は 57.9%、「不満」と回答した外来患者は 4.9%となっている。

病院の種類別にみると、「満足」と回答した外来患者は特定機能病院で 65.1%と最も高くなっている。(図 10、統計表 8)

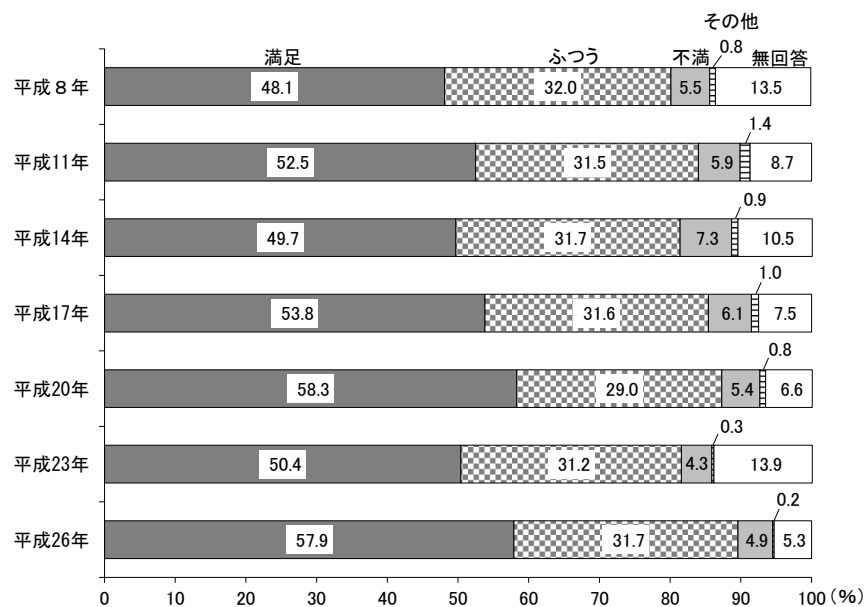
図 10 病院の種類別にみた外来患者の病院に対する全体的な満足度



注：「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

外来患者の病院に対する全体的な満足度を年次推移で見ると、「満足」が5～6割程度で推移している(図 11)。

図 11 外来患者の病院に対する全体的な満足度の年次推移

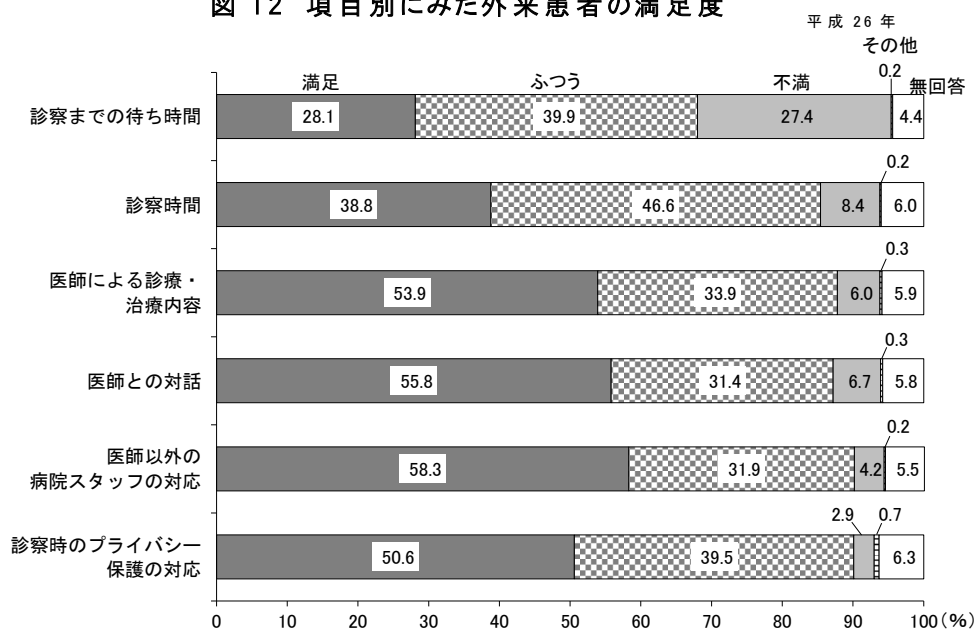


注：1)平成 23 年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。
2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

(2) 外来患者の項目別満足度

項目別に外来患者の満足度をみると、「医師による診療・治療内容」「医師との対話」「医師以外の病院スタッフの対応」「診察時のプライバシー保護の対応」は「満足」が5割を超えているが、「診察までの待ち時間」は「満足」が3割弱となっている(図12、統計表8)。

図12 項目別にみた外来患者の満足度



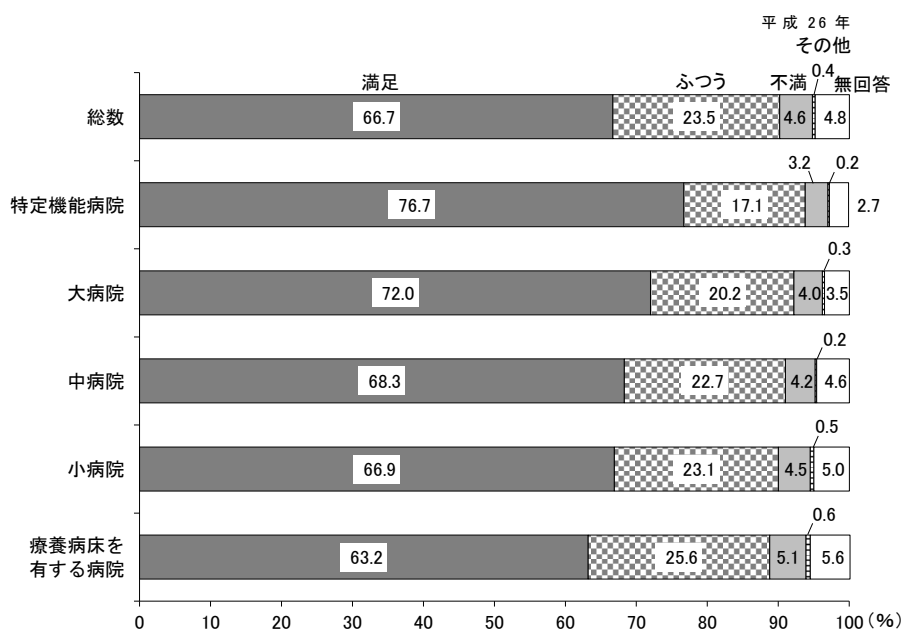
注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は「医師による診察を受けていない者」を除いた数値である。

(3) 入院患者の病院に対する全体的な満足度

調査日に入院している病院を全体として「満足」していると回答した入院患者は66.7%、「不満」と回答した入院患者は4.6%となっている。

病院の種類別にみると、「満足」と回答した入院患者は特定機能病院で76.7%と最も高くなっている。(図13、統計表9)

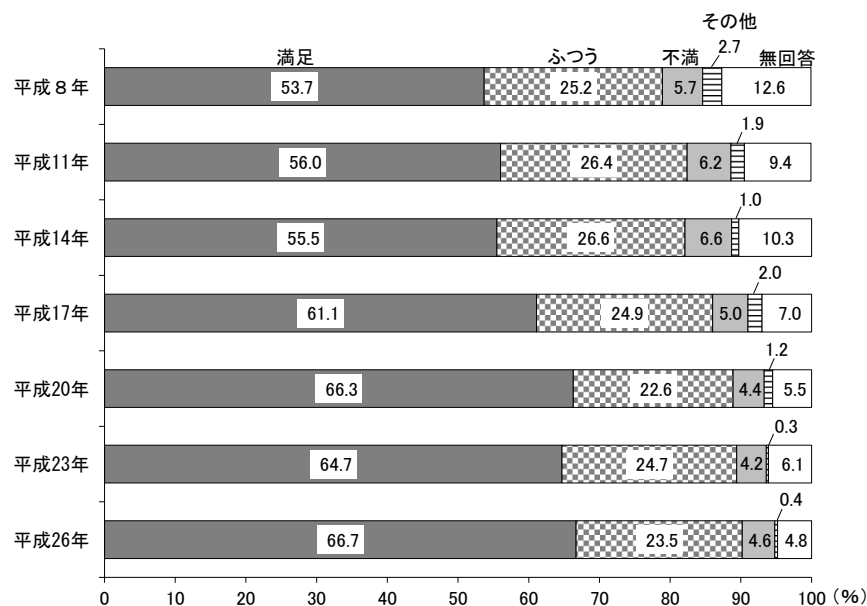
図13 病院の種類別にみた入院患者の病院に対する全体的な満足度



注:「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

入院患者の病院に対する全体的な満足度を年次推移で見ると、「満足」は増加傾向となっている(図 14)。

図 14 入院患者の病院に対する全体的な満足度の年次推移

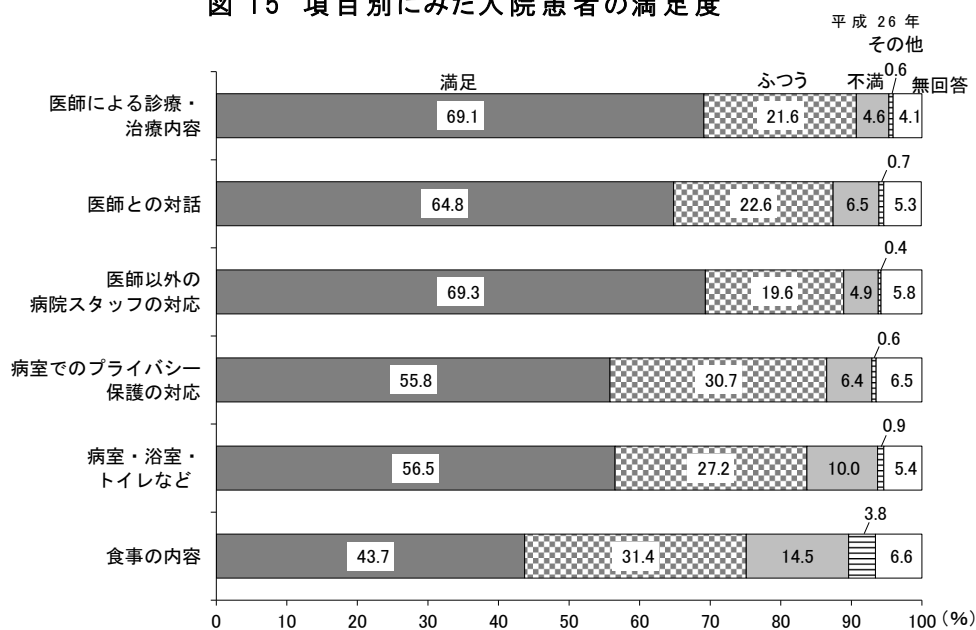


注:1)平成 23 年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。
 2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

(4) 入院患者の項目別満足度

項目別に入院患者の満足度をみると、全ての項目で「満足」の割合が多く、「医師以外の病院スタッフの対応」69.3%、「医師による診療・治療内容」69.1%、「医師との対話」64.8%となっている。「不満」の割合は、「食事の内容」14.5%、「病室・浴室・トイレなど」10.0%で高くなっている。(図 15、統計表9)

図 15 項目別にみた入院患者の満足度



注:「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。